

2019年8月10日～2019年8月16日

2019年8月20日

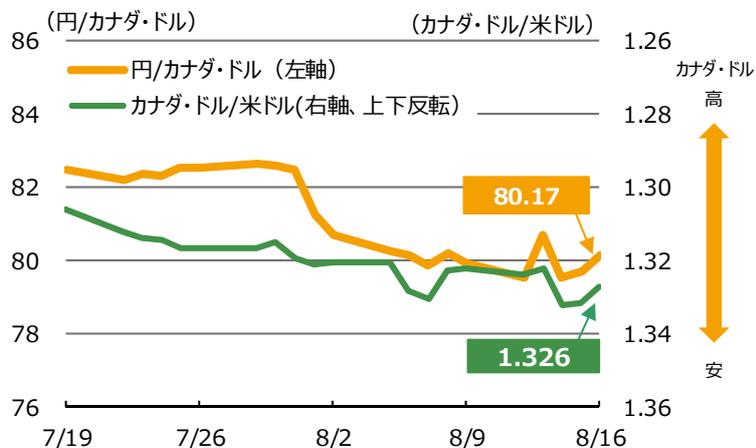
先週の回顧

カナダ・ドルは、対円で横ばいになりました。また、カナダ5年国債利回りは低下しました。

週前半は、米国が対中国の追加関税を巡り一部品目の発動延期を発表したことを好感し、カナダ・ドルは対円での上昇圧力が強まりました。週後半は、ドイツ、中国の経済指標の悪化を受け、株式市場が大幅下落したことから上昇幅を縮小しました。カナダの金利は、米国の金利に連れて低下しました。

カナダ・ドル 為替推移

(2019年7月19日～2019年8月16日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

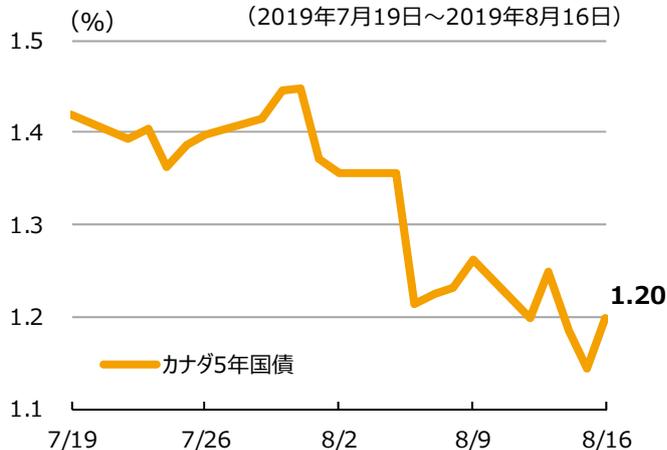
今週の見通し

今週、カナダでは、CPI（消費者物価指数）、小売売上高の発表が予定されています。前年比ベースでCPI、小売売上高は前回から弱含むことが予想されています。

依然として、貿易を巡る米中の動きに市場が翻弄されています。足元では米国がファーウェイに対する制裁措置の一部猶予期間を延長すると表明したことにより、貿易戦争懸念が若干後退したものの、根本的な解決に至っていません。また、今週は、週末にジャクソンホールで、パウエルFRB（米国連邦市場委員会）議長の講演が予定されています。トランプ大統領の利下げ圧力が強まる中、今後の政策金利に関して、どのような見通しを示すかに注目が集まります。

カナダ 金利推移

(2019年7月19日～2019年8月16日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。